

KT-N Series

支線型 20~60m高

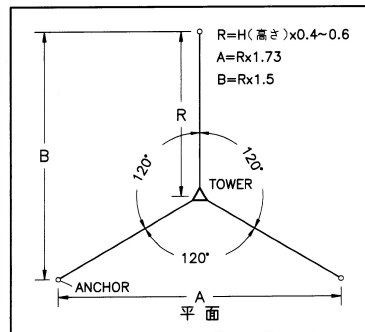
支線型タワーは、低価格で高地上高と大型アンテナ対応が容易

KT-Nシリーズは、支線型による軽量大強度タワーです。このシリーズは、地上高20m(KT9N)~60m(KT25NL)までが標準モデルとして用意されています。支線型タワーは自立型に比べ、小さな部材で大きな頂部許容負荷と高地上高を容易に得られる為、建設費もわずかで済みます。各部材の接合はボルト式の為、瞬間的な大荷重もタワー全体で吸収します。タワーの各セクションは2.44m長で、頂部で41cm、下部で60cmの三角形です。KT18NL(44mh)以上はコンクリート図に示すように、タワー基礎コンクリートにはセクションが埋まらず、タワーベース板によってタワーが固定されます。従って、タワー全長(2.44m×段数)が地上高となります。

頂部セクションには、アンテナ用マスト(標準はφ61mmまで)が据付られます。又、様々な建設方法に応じられるよう各種のオプション部品が用意されています。支線部品についてはオプションとなっています。



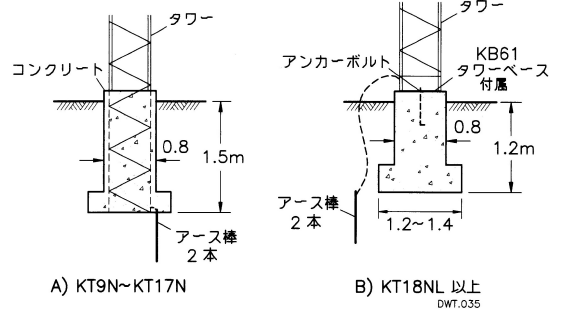
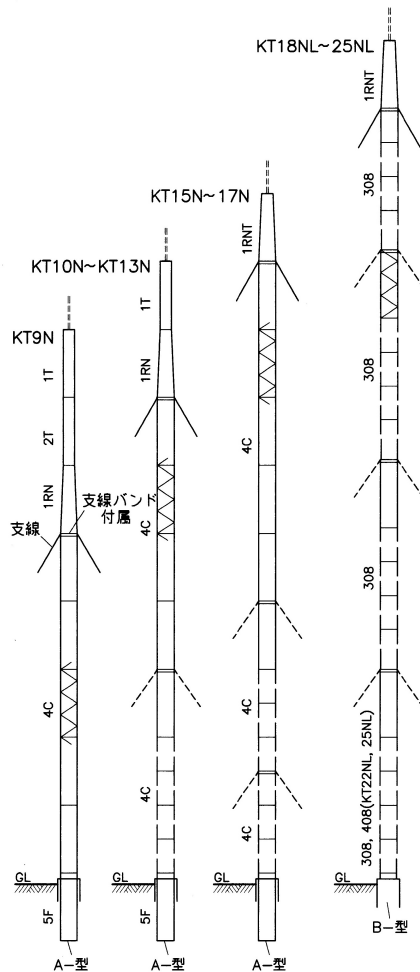
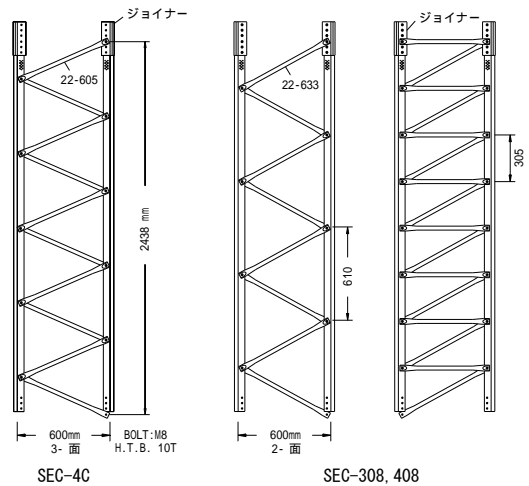
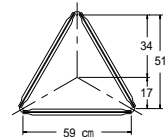
KT17N 39.7mh



記: 1) 基礎にはコンクリートが必要です
2) タワー左の記号はセクション呼名

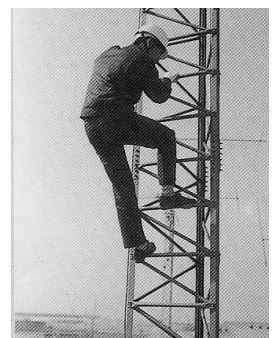
ラダー型セクション:

KT18NL以上のタワーセクションの一面は昇降しやすいラダー型プレス構造になっている為、高いタワーでも疲れません。

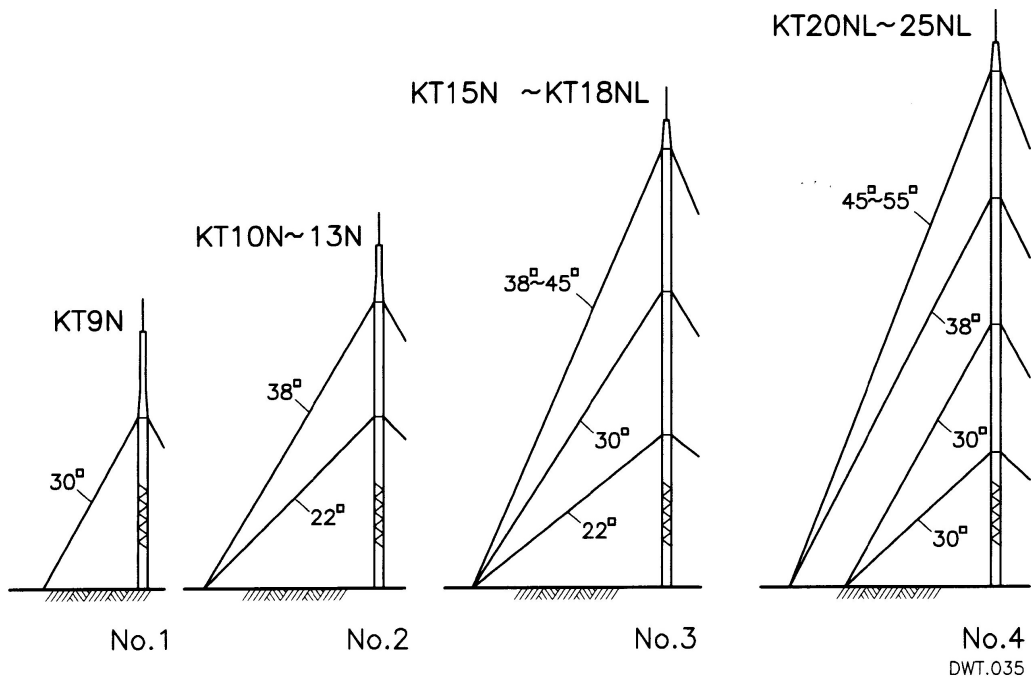


タワー基礎構成(参考図)

昇降しやすい
ラダー型タワー



記: 1) 支線段数は表に示す
2) KT12N以上の支線は4~6セクションごとに設ける。



標準的な支線段数例で、各支線に示された数値はワイヤーサイズです。

各タワーの支線構成例

Model No.	地上高/全長 m	許容負荷 45m/s	支線段数	コンクリート	質量	価格
KT 9N	20.5/22.0	4.2 m ²	1	1.1 m ³	330 kg	¥530,200
KT10N	22.9/24.4	5.3 m ²	1	1.1 m ³	390 kg	¥605,000
KT11N	25.3/26.8	5.3 m ²	1	1.1 m ³	430 kg	¥662,200
KT12N	27.8/29.3	5.3 m ²	2	1.1 m ³	470 kg	¥728,200
KT13N	30.2/31.7	5.3 m ²	2	1.2 m ³	510 kg	¥785,400
KT15N	35.1/36.6	6.6 m ²	3	1.2 m ³	600 kg	¥971,300
KT17N	40/41.4	6.6 m ²	3	1.2 m ³	680 kg	¥1,094,500
KT18NL	44.3	6.6 m ²	3	1.2 m ³	720 kg	¥1,155,330
KT20NL	49.2	6.6 m ²	4	1.3 m ³	800 kg	¥1,284,800
KT22NL	54.1	6.6 m ²	4	1.3 m ³	910 kg	¥1,455,300
KT25NL	61.4	6.6 m ²	4	1.3 m ³	1,030 kg	¥1,659,350

CMN-2301

- 1) モデルNo. はセクションの段数を表し、1-セクション長は2.44mです。
- 2) KT17N以下のタワーは下部セクションが基礎に埋まり、タワー全長より約2m低い。
KT18NL以上のタワーは下部セクションが基礎に埋まらず、タワー全長が地上高となります。
- 3) KT18NL以上は登り易いラダー型のセクション構造です。
- 4) 許容負荷は、45m/s時におけるアンテナ受風面積を示す。
- 5) KT18NL以上のアース材はオプションです。(アクセサリページ参照)
- 6) 支線材等はオプションで、本体価格の約30~40%です。

★ 上記価格は全て税込表示です。

KT-M Series

支線型 4.9~20m高

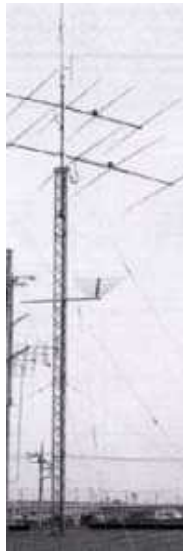
小型支線型タワーは、屋根上やビル屋上用に最適



タワー頂部



KT6N/1RT屋上



KT5M/屋根上



KT6M/搭屋据付型

KT-Mシリーズは、小型支線型の多目的利用として用意されたものです。

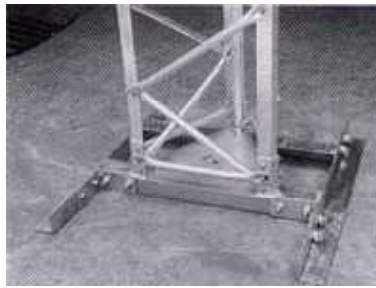
タワーの各セクションは2.44m長で、幅41cmの三角形です。構造はKT-Nシリーズ同様にレール、プレスそしてボルトにより構成しています。頂部はアンテナ用マスト(最大φ61mm)が据付られます。地上据付にはコンクリートを必要とします。

屋上据付にはタワーベース (KB40)、避雷対策部品等がオプションとして用意されています。

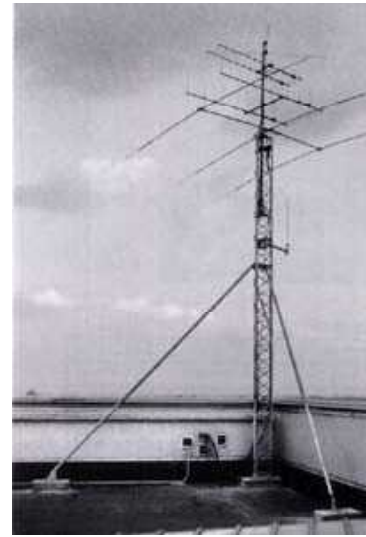
又、ビル屋上据付時、防水等の関係で屋上面にアンカーボルトが打てない場合に使用するタワーベースKB401や波屋根用ベースなどのオプション部材も製作が可能です。



特型 波屋根用ベース



屋上用ベース, KB401
アンカーボルト不要型



KT3M/コーナー型

Model No.	全 長	許容負荷	支線段数	質 量	価 格
KT2M	4.87 m	3.6 m ²	1	51 kg	¥107,800
KT3M	7.30 m	3.6 m ²	1	75 kg	¥156,530
KT4M	9.80 m	3.6 m ²	1	100 kg	¥203,280
KT5M	12.20 m	3.6 m ²	1	130 kg	¥257,290
KT6M	14.60 m	3.6 m ²	1	160 kg	¥307,120
KT7M	17.30 m	3.6 m ²	2	190 kg	¥358,600
KT8M	19.50 m	3.6 m ²	2	220 kg	¥407,880

CMN-2301

- 1) モデルNo. はセクション(2.44m)の段数を表しています。
- 2) 許容負荷は、45m/s時におけるアンテナ受風面積を示す。
- 3) 各種据付具は、アクセサリページ参照。
- 4) 頂部セクション1Tの支線止めU-ボルトは付属。
- 5) 付属工具：組立用スパナレンチ、ぼうず用ネジ。

★ 上記価格は全て税込表示です。